

ふるさと 通信員だより

vol.199

このコーナーでは、ふるさと通信員が取材した身近な地域的话题を紹介しします。なお、町では通信員を募集しています(活動はボランティアでお願いしています)。広報活動に興味のある人は、役場広報広聴課広報係(内線216)にご連絡ください。



たかだ かつこ 通信員
高田 徹子

最後の学習発表会

南中音更へき地保育所(園児4人)と今年3月をもって閉校となる南中音更小学校(水口一校長 児童8人)との最後の学習発表会が開催されました。水口校長は「コロナの中、種目や内容を考えて発表します。温かい拍手をお願いします」とあいさつ。1年生の初めのことばでスタートし、演舞の「御神楽」や音楽、「やればできる!」をテーマに個々で研究した「南中の今や昔」「アイヌ文化」「牛大発見」など9演目が披露されました。最後に真柄胡幸さん(6年)が「南中最後の発表でした、応援ありがとうございます」と元気にあいさつ。一人ひとりがきらきら輝き、みんなが主役の最後の発表会に惜しみない拍手が送られていました。



いしだ ひさよ 通信員
石田 尚世

雪中運動会

小規模保育事業所・家庭保育園ひだまり(上原 なぎさ園長・園児22人)で毎年恒例の雪中運動会が開催されました。今年にはコロナ対策と大雪の翌日ということで、任意参加で開催したところ、13組の園児とその保護者が集いました。園児と保護者の皆さんは、自由遊び、そりりレール、雪山上り、そして宝探しなどたくさんさんの種目や遊びを楽しみました。保護者の一人は「先生たちの心のこもった雪中運動会で、親子の楽しい時間を過ごせました」と心温まる冬の一日を満喫し、笑顔で感想を話していました。